

平成29年度予算見積調書

課室名：道路環境課
 担当名：交通安全施設整備担当
 内線：5097 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B32	社会資本整備総合交付金（交通安全）事業費		一般会計	土木費	道路橋りょう費	道路維持費	社会資本整備総合交付金（交通安全）事業費	
事業期間	昭和41年度～	根拠法令	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律		挑戦項目			
					分野施策	020411 交通安全対策の推進		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>県管理道路において、歩道の新規設置や拡幅整備を行うことにより、歩行者の安全を確保し交通事故の軽減につなげる。</p> <p>また交差点部付近において、交通事故の約6割が発生しており、慢性的な交通渋滞も発生している。右折帯設置などの交差点改良を行うことにより、交通渋滞の緩和と交通事故の軽減につなげる。</p> <p>また既存道路において、自転車レーンを整備し、道路利用者の交通安全の向上を図る。</p> <p>(1) 歩道整備 827,200千円 (2) 交差点改良 911,800千円 (3) 自転車レーン整備 60,000千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 歩道整備 歩道がない所や狭い場所において、歩道の新規設置や拡幅整備を行う。</p> <p>イ 交差点改良 交差点部において、右折帯又は右折避讓帯等の整備を行う。</p> <p>ウ 自転車レーン整備 自転車の通行位置を明確にする自転車レーンの整備を行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 歩道整備 主要地方道飯能下名栗線(飯能市) 外24箇所の整備を実施する。</p> <p>イ 交差点改良 一般県道騎西鴻巣線(行田市) 外17箇所の整備を実施する。</p> <p>ウ 自転車レーン整備 主要地方道東京所沢線(所沢市) 外5箇所の整備を実施する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 歩道整備 歩道の新規設置又は拡幅整備により、歩行者が安全に通行できるようになり、交通事故の軽減につながる。</p> <p>イ 交差点改良 交差点を改良することにより、交通渋滞が緩和され、排出ガスの低減にもつながる。 また、車両が安心して右折できるため交通事故の軽減にも有効である。</p> <p>ウ 自転車レーン整備 自転車レーンの整備により、自転車の車道左側通行を促進し、道路利用者の安全確保につながる。</p>					
2 事業主体及び負担区分								
○社会資本整備総合交付金 (国5.5/10・県4.5/10)								
3 地方財政措置の状況								
公共事業等債 充当率 90% 元利償還金交付税措置 財対分 50%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×2.3人=21,850千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
		国庫支出金	諸収入	県債				
決定額	1,799,000	946,000	40,000	813,000			0	
前年額	1,789,000	962,500		826,000			500	